

みやこ社協だより

この広報誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています

宮古市社会福祉協議会 会長あいさつ

赤沼 正清



先般、当会理事会が開催され、再度2年間、会長の任に当たることになりました。

東日本大震災から5年目となる被災者への支援や各地区で抱えている生活課題などの解決のため、町内自治会長、民生委員・児童委員の皆様、また各種団体の皆様のご理解とご協力を賜りながら、役員一同頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※会長・副会長選任のお知らせはP4に掲載

びとびと人がつながる「場」

地域・人がつながり合う「場」づくりを

「ほっとほーむ」じゃないけれど…

平成12年より宮古市社会福祉協議会では、住民同士の支え合い、高齢者の生きがい・仲間づくり・見守り活動として「ぶれあいいきいきサロン」を、『ほっとほーむ』と名付け、住民主体の活動として地域に根付くよう活動を支援してきましたが、現在、41団体が「ほっとほーむ○○○」として地域で活動しています。

地域により「ほっとほーむ」とは別に、自由な形で住民の皆様が集まり、活動しているところもあります。

例えば、市介護保険課主催の介護予防教室終了後も「地域で集まりたい」という思いで、自発的に集まり、体操やレクリエーション・ゲームなどを行っているところも。当協議会では、地域訪問等を行い、地域の状況の把握・支援をしています。

あづまっぺしの会 (愛宕・築地)



地域住民の方が集まり活動中です。

地域では様々な「場」づくりの活動が…

子育て中の親子の「場」づくり、障がいを持った方が気軽に集まれる「場」づくりに取り組んでいるグループ・団体もあります。



「MIYAKO Revolution21」では子育て中の親子の居場所づくり「ピョンカフェ」を開催しています。(写真はクリスマス会)

実は、子育て中の親子、障がいを持った方、高齢者、住民の皆さんが地域での仲間づくりの「場」を求めているということが、地域の中で徐々に分かってきました。



障がいを持った方も地域の方も一緒に集まれるようにと「およれんせの会」では「みず木団子交流会」を開催。(末広町：センター・うえる花夢にて)

地域福祉活動計画と「場」づくり

平成27年4月に策定した「宮古市地域福祉活動計画」に「地域での見守り・支え合いの構築」があります。

「地域、人がつながり合う「場」づくり」を促進し、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加する住民主体の「場」づくりを地域の皆さんとともに、当協議会では取り組んでまいります。

第27回宮古市福祉作文・標語コンクール入賞者決定

今年で27回を迎える福祉作文・標語コンクール。今年には小学校21校中16校、中学校11校中3校、そして一般の方より応募があり、応募総数作文の部103点、標語の部162点の作品が寄せられました。児童生徒や地域の皆さんが、このコンクールをきっかけに福祉に関心を少しでも向けてもらえればと思います。

2月初旬の審査会を経て、次のとおり入賞者が決定しました。

作文の部

◆小学校の部

○最優秀賞

からだがぶじゆうなひとたちにわたしができること

津軽石小学校 一年 菊地 妃世

一年生とのこうりゆう会

磯鶏小学校 二年 小林 うらら

ぼくを生んでくれてありがとう

山口小学校 三年 長谷川 舜

支え、支えられることの大切さ

山口小学校 四年 齊藤 一華

障がいとお母さん

千徳小学校 五年 鈴木 桜

ありがとう、たけひろくん

千徳小学校 六年 中村 ひより

○優秀賞

おばさんがおしえてくれたこと

磯鶏小学校 一年 荒川 純花

みんなのために、きれいにしよう

宮古小学校 二年 岩間 詩月

これからはわたしが支えたい

崎山小学校 三年 久保 綾菜

松葉つえから学んだこと

山口小学校 四年 濱田 梨緒

応えんしてるから

磯鶏小学校 五年 須藤 凜朱瑠

私と「福祉」

崎山小学校 六年 佐々木 桜花

○優良賞

おにごっこをしてあそんで、たのしかったこと

千徳小学校 一年 細越 蒼之介

つえをつくってお母さん

千徳小学校 二年 鈴木 杏

ひいばあのためにできること

津軽石小学校 三年 盛合 華代

「今私ができること」

重茂小学校 三年 後川 七海

きれいな宮古をつくりたい

藤原小学校 五年 白間 鈴

手話を通して

磯鶏小学校 六年 上林 未季

◆中学校の部

○最優秀賞

祖母の笑顔

宮古西中学校 一年 上野 晃市

社会をもっと優しくするために

第一中学校 二年 神道 優奈

介護の世界

宮古西中学校 三年 阿部 桃佳

○優秀賞

明るい未来にするために

宮古西中学校 一年 松舘 花

みんなの幸せのために

第一中学校 二年 坂下 菜々子

自分ができること

津軽石中学校 三年 岡田 莉々花

○優良賞

だれもが支えあえる世の中に

第一中学校 一年 佐藤 かりん

「高齢者に優しい町」とは

津軽石中学校 二年 金澤 梨乃

介護・バリアフリーについて

第一中学校 二年 大久保 美里

福祉というものは

津軽石中学校 三年 大手 悠暉

○特別賞

今わたしたちにできること

山口小学校 二年 毛内 カレン

障がいのある方に会って

宮古小学校 四年 宇都宮 愛

あいさつの持つ力

高浜小学校 六年 昆 真紗土

生きる

第一中学校 二年 鈴木 優海

癒しと支えられの日々

一般 大久保 七海

標語の部

○特選

「一言の 優しい言葉で

花が咲く」

宮古西中学校

大久保 郁一

○入選

『やさしさを わけたあなたも

ありがとう』

山口小学校

寒河江 悦基

『大丈夫 君のそばには

みんないる』

宮古西中学校

山崎 善伸

○佳作

『人助け 小さな援助で

大きな笑顔』

崎山小学校

佐々木 心楽

『優しさは 人と人との

繋ぐ糸』

宮古西中学校

川上 遥

『差し出す手 その手は人を

救える手』

宮古西中学校

崎尾 玲菜

審査長コメント

小学校の部審査長

重茂小学校 校長

阿部 真一様

作品を比べることは難しかったですがどの作品もやさしさや温かさにあふれていて、その中で体験したことや考えを広く文集を通して伝えたいと思う作品を選びました。

中学校の部審査長

宮古西中学校 校長

山名 秀樹様

日常の小さなことを様々な視点で書いてあり、特に2年生に力作が多かったです。一生懸命書いた生徒の思いを大事にしたいと思いました。

高校・一般の部審査長

川井地域づくり委員会会長

佐々木 登様

特別賞には、小学生らしく、子どもらしい、そして素晴らしい文章ばかりでした。その中でも福祉をとらえている内容の作品を選びました。

宮古市生活復興支援センター情報

談話室にて住民集会を開催

災害公営住宅の完成に伴って仮設住宅から転居される方が増えています。その一方で仮設住宅にお住まいの方からは「仮設住宅の住民が減って寂しく感じます」との声も多く寄せられています。

そこで、生活復興支援センターでは、仮設住宅にお住まいの皆さんと今現在の暮らしの心配・困りごとや楽しいこ

と等、皆さんの「声や感じている事など」をお聴きして、住民さんの思いを受けとめ、今後の支援につなげていくため『集会』を開催しています。

「仮設住宅での交流が減った」「今までどおり、仮設住宅にいる人達や生活再建・復興住宅に引っ越した人達みんなでお茶とお喋りをしたい。」「みんなで力を合わせて楽しく生活していきたい」など…今後地域の皆さんが「安心



集会の最後に住民さんの「ウクレレ」伴奏に合わせて歌いました！

ボランティア・市民活動センター情報

NPO法人みやっこベースと共催で今年度進めてきた学生向けボランティア講座。第2回は『みんながしたい活動や想いを聞く』をテーマに座談会形式で行いました。アドバイザーとしてNPO法人明日育の長井さんにお越しいただき、全国の様々な高校生の活動の事例を紹介してもらいました。普段の活動の客観的な意見や課題を解決する方法などをお話ししてもらいました。



「しゃべくりみやこ」座談会の様子



「しゃべっぺ〜す」の様子

心」して生活が送れるよう、引き続き、支援活動を行ってまいりますので、よろしくお願いたします。

講座の翌日には「震災前よりもっと活気のある街にしていきたい」との想いから田老出身の高校生が企画した交流会「しゃべっぺ〜す」が田老地区の常運寺で開催されました。ゲームやおしゃべりを通じて高校生と地域の方々が交流し、笑顔溢れる場となっていました。今後も定期的に開催していきたいと次に向けて進んでいます。高校生それぞれがしたい活動は幅広く、地域内で活かせるよう関わりを持ちながら、高校生が持つ無限の可能性に今後期待です。



宮古市歳末たすけあい募金 (運動期間：平成 27 年 12 月 1 日～ 31 日)

運動結果報告

2/8 現在
募金額 9,384,898 円

- (内訳)
- 戸別募金 8,672,071 円
- 個人募金 69,166 円
- その他募金 643,661 円

配分結果 8,142,400 円

地域福祉活動配分	1,372,400 円
(内訳)	
○団体配分	17 団体 348,000 円
○地域福祉活動事業配分	29 団体 1,024,400 円
・被災者支援活動	13 団体 471,000 円
・みんなでささえあうあったかい地域づくり支援事業	16 団体 553,400 円

在宅者配分 6,770,000 円
(内訳) (一世帯あたり 10,000 円を配分)

- 介護人 273 件
- 在宅心身障がい児・者 124 件
- 出生世帯 280 件

皆様のあたたかいご支援ありがとうございました。

※なお、募金総額から配分額と事務経費(45万円)を差し引いた額(792,498円)は、平成28年度の地域福祉活動費として、福祉活動のために役立てられます。

宮古市共同募金委員会からのお知らせ

地域の話題

「ひとり暮らし交流会」

新里地区民生委員児童委員協議会主催で「新里地区ひとり暮らし交流会」が1月27日(水)、新里保健センターにて開催されました。

この事業は宮古市歳末たすけあい運動「みんなでささえあうあったかい地域づくり支援事業」の助成を活用し、一人暮らしの高齢者を対象にした交流会です。

今年には市地域包括支援センターの中里介護予防指導員から楽しく「ため」なるお話を、頭を使う上半身体操の指導を受け、気持ち良く体を動かしました。



昼食は宮古市食生活改善推進員協議会新里地区の皆様による手作りのおいしいお料理を堪能しました。



メニューは、押し寿司、たらのホイル蒸し、ぬっぺいなど

また、ビンゴ、ゲーム、カラオケなどで参加者の皆さんは1日楽しく過ごされました。参加者からは「年に1回の交流会をとて楽しんでいました。この場所に来ると懐かしい顔に合うことが出来て、昭和がよみがえります。この会に参加できるように元気に日々暮らしたいと思います。」というお話を聞くことが出来ました。そんな言葉をいただくことが交流会を継続する力になると感じました。

寄付のお礼

【寄付金】

- ◆村上フニ子様 12,000円
- ◆(株)花輪橋自動車教習所様 26,762円
- ◆リズム様 5,764円
- ◆宮古茶道協会様 10,000円
- ◆チャチャダンスサークル様 15,967円
- ◆第35回市民福祉まつり実行委員会様 100,000円

- ◆杜陵高校宮古分室様 9,880円
- ◆宮古市社会経験者大学様 10,000円
- ◆山口団地自治会様 10,500円
- ◆株式会社吉番屋様 100,000円
- ◆イズミ音楽事務所様 35,807円
- ◆故山内キノノ様 20,000円
- ◆岩城裕司様 4,971円
- ◆宮古市地域婦人団体協議会様 100,000円

- ◆カトリック宮古教会様 10,000円
- ◆宮古市立花輪橋小学校様 うるち米 4kg×12袋
- ◆郵便局長会様 タオル100枚×3箱
- ◆松緑神道大和山宮古支部様 りんご2箱

宮古市社会福祉協議会 会長・副会長選任のお知らせ

このたびの任期満了に伴い、平成27年12月1日の理事会において、次の通り会長・副会長が選任されましたのでお知らせいたします。

- 会長 赤沼 正清 (再任)
 - 副会長 横田 大樹 (再任)
 - 副会長 木下 一 (再任)
- (任期：平成27年12月1日～平成29年11月30日)



花輪小学校様からのお米は、地区にある仮設住宅など、被災した方々へもお届けしています。(歳末たすけあい運動地域福祉活動事業配分助成利用)

善意のご寄付 ありがとうございます

編集後記

今年の冬は暖冬?と 思っていたら、1月17日に大雪が…。沖縄にも雪というニュースも。 思い出したのは、田老地区の仮設住宅周辺が大雪で、県内・県外からたくさんの方々がボランティアの方々に助けられたこと。 困ったときにすぐに駆け付けるボランティアの存在は、何時のときも頼もしい限りと改めて思い出したこの頃でした。